

田原本町住民協議会（第3回）議事録

日時	令和5年6月17日（土）9時00分から12時00分
場所	町民ホール
コーディネーター	荒井 英明氏（一般社団法人構想日本 特別研究員）
その他	参加者27名 欠席者11名

コ) コーディネーター、町) 田原本町職員、メ) 協議会メンバー

副町長挨拶

いよいよ、住民協議会も最終回を迎えた。数ヶ月にわたり議論をいただいたことに感謝申し上げます。この住民協議会は町にとっても初めての取組で、日々悩みながら、そして都度の皆様方からのご意見、ご指導いただき試行錯誤しここまで進めて参った。行政として、思いをもう少し出したほうがよいといった指摘であるとか、あるいは一部出過ぎたところについては、行政としてのゴールがあって、ここで何を言っても変わらないのではないかと指摘をいただいた。そのバランスは大変難しく、行政としての思いをどう伝えていくか、一方で、皆様の議論を阻害せずそのバランスを取ってきたつもりであるが、その点は反省点だと思う。まず伝えたい重要な点が1点ある。私どもは、皆様方からの大切な税金をいただき、行政を運営している。行政のプロとして、この場に臨んでいる。当然、この公共施設のあり方についても、行政としての思いを持っており、これが無ければむしろ職務懈怠だと思っている。その思いが結論かというとは決してそうではない。報告書がまとまったら、町長に提出していただき、その後、行政内部での、公共施設再編の検討委員会を開催し、前に向けて進めていく。大きな施設の存廃の議論もあるが、一方でこの協議会の中では、受益者負担の話であるとか、あるいは運営方法のご指摘もいただいた。この住民協議会の中で得られたご意見を十分に踏まえて、町としての意思決定をしたいと考えている。何かありきというわけでは決してなく、それを大前提に本日も忌憚のないご意見をいただきたいと思う。改めてこの数ヶ月間、ともに議論をし、20年後あるいは50年後の田原本町のために、大変なご尽力をいただいたことに感謝申し上げます。最後に情報共有になるが、前回の協議会において、公共交通の議論があった。その後、公共交通の会議の中で少し進捗があったのでその状況について報告をさせていただく。この秋から町内において2種類の公共交通を走らせる予定であり、定時定路線型のバスについては、1乗車当たり200円という大きな方向性が示された。もう一つデマンド交通についてはもっとタクシーによった形で、点から点までを直接繋いでいくという交通である。これについては1乗車当たり500円という形で進めている。

報告書の内容に関する議論

コ) 最後の住民協議会になるが、田原本町の将来の為に、皆が住み良く、笑顔で暮らせるような町に近づくように、本日も皆さんと本音で意見交換をして参りたいと思う。公共施設の

あり方について存廃をテーマに議論してきたが、大事なことはその過程で出てきた皆さんの意見である。施設の存廃自体が重要ではなく、行政と意見交換をしたことが一番大事なことである。本日の流れについて、前回の振り返りを行ってから報告書について説明させていただく。1時間ほどかけて報告書に記載したい内容についての意見交換を行う。時間の都合上全ての意見を発表できないかもしれないが、意見提出シートを用意したので、そこに意見をいただき、全ての意見を踏まえて最終的な報告書を整理して住民協議会から町長へ提出していただく。7月の初旬を目途に進めていくというスケジュールである。それでは前回の振り返りを行っていくが、指定管理料の内訳について説明を求められていたので、町から説明をしてもらう。

町) 2 施設、一括して説明する。まず、老人福祉センターは、人件費が 10,898 千円、委託料が 4,999 千円、光熱水費が 5,555 千円、修繕費が 626 千円、役務費が 475 千円、備品購入費が 778 千円、その他が 2,569 千円、合計で 25,900 千円となっている。委託料の主な内容は、設備の保守、植木の剪定、健康体操等である。光熱水費については、ガス、重油、電気、上下水道等である。その他については、消耗品費、コピー機、カラオケ機器のレンタル料等である。続いて、ふれあいセンターは、人件費が 19,288 千円、委託料が 4,673 千円、光熱水費が 7,413 千円、修繕費が 674 千円、役務費が 1,902 千円、その他が 7,850 千円、合計で 41,800 千円となっている。委託料の主な内容は、ボイラー点検、地下タンク点検、エレベーター点検、自動扉点検等である。光熱水費については、電気代、水道代、重油代、ガス代等である。役務費は保険料、通信費、賃借料である。その他は消耗品費、保育材料費、イベント経費、消費税等である。

コ) 今の説明について質疑があるか。

【意見なし】

無いようであるが、報告書の作成について経費などの資料が必要だという住民協議会メンバーの意見に対して、行政側から提供があるという関係が非常に大事である。ぜひ参考にさせていただきたい。前回の振り返りについて、住民協議会改善提案シートまとめを配付しているのでご覧いただきたい。中央体育館について様々な観点から意見をいただいた。スポーツ施設には大原則があり、皆さんの意見はほとんど当てはまっている。スポーツ参加の促進、スポーツを通じた住民の健康増進、スポーツを通じた人材育成、スポーツを通じた地域交流の促進などであるが、こうした提案を報告書に記載した。さわやか交流センターについては、施設の認知度が低いため利用されていないのではないかと、もっと住民に利用してもらって稼働率を高めてはどうかという意見が非常に多かった。また、管理費の削減、受益者負担の適正化などの意見もあった。ふれあいセンターについては、さわやか交流センターと一体活用する必要があるという意見が多く、受益者負担の適正化や公共交通の導入によりアクセスの向上を図るという意見もあった。ふれあいセンターについてはもっと様々な視点で活用できるのではないかと意見が多くあった。ただキャパシティの関係でさらに事業を増やすのは難しいかもしれない。改めてこの3施設について意見があるか伺っておきたい。

【意見なし】

無いようであるので、次は報告書について説明する。全体の作りを簡単に説明したい。まず、報告書を1枚めくると、裏面が目次である。2ページには、「はじめに」で町長に提出するいわゆる前文である。今まで住民協議会のメンバーで議論した内容でどのような内容の報告書を提出するのかを記載している。この「報告書のはじめに」の一番下の段落をご覧ください。「全4回の議論を重ねる中で出された意見が載せられていますので、今後の公共施設に対する各種方針、計画の策定及び検討に有効活用していただくことを望みます。また、今回関わった私たちも、公共施設再編の動向に注目し、できるところから協力をしていきたいと思っています。最後に、町の施設への取り組みが『自分ごと』として考えるきっかけをつくれるような場づくりが、今後も続いていくことを期待しています。」この報告書には、施設の存廃だけを示す内容を書いたものではなく、いろいろな意見があり、多数の意見はこうだが、他にもこのような意見があった。活用方法としてはこのような意見があった、という書き方をしている。従って、すべての意見を今後の参考にしていただきたいという書き方をしている。3ページ、4ページについては、第1回、第2回の議論の進め方を記載している、5ページ、6ページが、今回のメインの報告の中身である。住民協議会での主な意見という書き方にした。一番上に「本意見は、施設レビューならびに住民協議会を経て出てきた議論内容を抽出してまとめあげたものであります。当然、メンバーには多様な意見があり、中には、本提案とは違う意見を持っているメンバーもいたことも明記させていただきます。なお、今回、議論を進めるにあたって、一部の施設については、具体的な維持管理費の積算根拠や、大規模改修費用の概要・内訳などが曖昧であることもあり、メンバーが判断をすることが難しかったこともありました。今後、町の方針を決定するためには、判断材料の根拠を示したうえで、住民との合意形成を進める必要があると考えます。」と記載している。住民協議会メンバーの意見をまとめるためには、今後、住民と協議をする場を持ち続けていく必要があり、ここを主な意見の前書きとして記載した。私たちが考える公共施設再編について、1)については、将来的に改修や建て替えはしないで、施設が使える限り有効活用をする。やすらぎ体育館や老人福祉センター、さわやか交流センターについては、耐用年数まで活用する。協議会のメンバーの中には、廃止したほうが良いとの意見が今まで議論の中でも出てきたかと思うが、報告書では、廃止するまでの間、有効活用をするという書き方にするのか将来的に改修や建替えはしないという書き方にするのか検討したが、ここはあえて、廃止という言葉にせず改修や建替えはしない、そこまでの間有効活用するという書き方にした。2)については、施設は維持してさらなる有効活用を図る。2回目に議論した中央体育館とふれあいセンターについては、このような内容とした。中央体育館については、約40年経過しているので老朽化については心配があるということも付記している。6ページは、この町民ホールのことであるが、3)については、施設は維持するが、機能の配置転換を行う、というまとめ方にしたらどうかと考えた。特にこの町民ホールについては、行政側から保健センター機能を移転するのはどうかという提案があったが、保健センターの移転については、移

転によるメリットとデメリットをしっかりと整理することが必要だと考えますという記載に留めた。メンバーの意見をまとめると、保健センターが役場の横に来ることは便利だという意見もあったが、他に町民ホールをどのように改修するのか、その費用には幾らかかるのかという心配や、駐車場の問題などをもう少し整理して、解決すべき問題が何点かあるのではないかという意見が改善提案シートに記載が多かった。そのことから、もう少しメリットとデメリットを整理したほうがよいと、協議会としては、こういう意見でまとめたらどうかと考えた。個別の施設も具体的な意見については、次のページ以降に記載しているが、まず5ページと6ページについて、皆さんから意見をいただきたい。まず、1) 将来的に改修や建て替えはしないで、施設が使える限り有効活用をする。この内容や書き方について、意見は無いか。

メ) 1点目、町長にこの報告書を出すにあたり、26ページもあり多いと感じた。町長が多忙の中読んでくれるのかと思った。2点目、協議会メンバーの名前が報告書に入っていないことについて、そういう形であると、理解した。3点目、1) について、施設が使える限り有効活用をするとはあるが、先送りするのではなく、例えば10年後に情勢を判断して反映させてもらいたい。将来的に建替えをしないと決めたのなら期限を別に記載するとよいと思う。2) は将来的に費用が必要となるので、財源の確保をしていただきたい。計画的に修繕費用を積み立ててほしいと思う。この2点を入れたらよいと思う。

コ) まず26ページの全体が長いということについて、提案部分と個別施設の様々な意見は付帯報告という形で作成している。町長も多忙であるが、目を通していただき、後半部分については様々な意見があったという意味だと解釈をしていただきたい。2番目についてメンバー一覧を報告書に記載するかどうかについて、付けることで自分たちが参加した実感や実績が残るので個人的にはつけると良いと思うが、今回は載せないこととする。施設が使える限りの「使える限り」とはいつのことなのか、期限はどうするかという議論をしたが、この施設が使える限りではなく、この報告書を踏まえて検討する期限という意味だと考えるが、記載するならば冒頭だと思う。意見をいただき、見た上で考えたい。財源確保策、中長期的な対応策については、2) 中長期的な財源の確保策を明確にするということだが、どこかにもう少し財源についての計画や将来見通しを盛り込む必要があると感じた。

メ) 最終的に公共施設のあり方について議論して決まるのが議会で、それを実行するのは各部署の担当者である。報告書を見て検討すべきだと考えた時に、町の職員がどれだけの覚悟を持って考えられるかが一番大事なことだと考える。

メ) 同様に住民協議会で出た意見はどれだけ反映されるのかということは疑問に思ってきた。この報告書を受けて会議を開いていただかないと、個々の職員にしっかりと目を通してもらえるのか不安である。そのため会議を開いて公共施設について具体的な意見が出されたということを職員、町長に認識していただくのが第一歩だと考える。

町) 冒頭の説明が足りず申し訳ない。皆様の後方に関係職員は全員出席をしており、議論の内容を拝聴している。町長が報告書を読む時間が無いということについては、最終的な意思

決定を町長にさせていただくので、当然説明させていただく。会議については冒頭でお伝えしたが、役場内の公共施設の検討にかかる委員会があり、副町長が委員長となっている。そして、関係の部長全員出席のもとで、事務的にまずは意思決定をしていく。その中で大きな存廃の話や、実際の管理運営あるいは受益者負担等も含めて、大きいところの意思決定をしていき町長に随時報告をしていくという流れである。そして委員会には出席しないが、実際に事務を担当する者についてもその議論については逐次、報告をしていき、この中の議論は町全体として受けとめ、しっかりと検討し進めていく。

コ) 非常に前向きな話をいただいた。町長におかれては、報告書を受け取った後、庁内でしっかりと議論を進めて欲しいということを最初の前文に記載しておく。

メ) やすらぎ体育館について、建替えをしないということだが将来的に活用可能なことが判明すれば改修や建替えも実施できるような柔軟な対応も必要だと考える。

コ) 解体した後の土地をどうするかは非常に大きな問題である。先程意見があった中長期的な財源を確保するため、公共施設を廃止した土地をすぐに売却するかどうか。住民の声を聞く会議でも、前提として土地を売却するというで議論するケースと、もう一つが、公共施設の用途としては使わないが土地は将来的な公共施設用地として確保しておくべきだというケースがある。建物は老朽化し、用途が済んだからここは廃止を前提にするが、土地は、将来的な公共施設用地として、確保しておくことなども含め、柔軟に対応というような書き方になるかと思う。

メ) 1)、2)、3)の括りを覆すようだが、高齢者対策という形で町も健康管理について施策をしていただいているが、お風呂もそうだが、数カ月に1回集まること楽しみしておられる老人福祉センターについて別の形で検討していただけないだろうか。

コ) 施設としてはやはり1)の括りになるが、高齢者対策としての老人福祉センターのサービスをどう存続させるかは、考える必要があるということか。1)の最後に「なお老人福祉センターについては、高齢者対策事業として、今後、どういう施設で、どういう事業展開をしていくのかを検討する必要がある」などをこの中に加えるというのはいかがでしょうか。

メ) 他のメンバーの意見のように会議が続いていくなら、報告書を見返したときにそのような意見もあったとわかるようにしていただけたらと思う。

メ) 報告書の目的は、施設についてまとめるものだと自分は考えている。機能についての意見は付加的なものだと思うので、違う意見になって恐縮だが、5、6ページでまとめるのであれば、まずは施設に対する意見という形でまとめた上で、付加的なものとして機能と結び付けた施設のあり方について分析が必要だという意見を出すのがよいと考える。

コ) その点については、この5、6ページは、総論的に両方に触れた。

メ) 総論的だからこそ、報告書の目的としてわかるように分けた方が、機能に関する意見が埋もれないと考えるが。

コ) 7ページ以降のまとめ方で個別施設に対する意見は施設についてと機能について、2つに分けて整理している、それを網羅的にまとめたものが5、6ページである。施設は廃止す

るが機能はどこかで残すべきということを5、6ページに併記という形で記載してはどうかと考えており、意見のように施設はこうすべき、機能はこうすべきという記載は難しい。

メ) 本日冒頭で個別の部分を見ている時間が無いのではないかと意見が出た。そのためまとめの中に箇条書きで施設に関する意見と、機能に関する意見を記載する方が良いと考える。

コ) 報告書は作成した協議会メンバーも受け取った行政側もわかりやすいというのが大前提である。今後報告書を公開したときに町民の皆さんにもわかりやすくする必要がある。

メ) そういうことであれば結構である。

コ) 箇条書きという意見もあったので、検討したいと思う。

メ) 7ページ以降の個別施設の円グラフについて、内訳を書いたものだと思うが「n」とは何を表しているのか。

コ) 意見の数である。

メ) 建物が老朽化しているという方向性だけでなく、利用率が低い施設は必要ないということを検討していく場だと認識しているが相違ないか。

コ) 相違ない、そういう意味では前回議論したさわやか交流センターは施設の老朽化の問題もあるが、実際問題として利用率が極端に低いのが施設の存続の大きな問題である。

町) 事務局より1点補足であるが、報告書や議事録等はホームページ上で掲載し公開する。その際は個人が特定されない形で掲載する予定である。

メ) 5ページの将来的には改修、建て替えはしない施設について、維持していただくだけでも多額の経費が町の財政としてかかっているということを踏まえ、受益者負担の適正化についても今後検討が必要であるという文言を記載したほうが良いと考える。

コ) 財源の確保という点で受益者負担の適正化をどのような形で盛り込めるか検討する。

メ) 報告書の内容ではないが、この住民協議会をこれで終了するのではなく、毎年、住民と行政の交流を継続していただきたい。それが広報等で周知されれば、もっと住民一人一人が自分ごととして考えていけるのではないかと思う。今までの協議会の意見を聞くと、情報が周知されていないことが非常に大きな課題であると思う。今回は建物の問題を発端に開催されたがよかったと思う。どのような形でも続けて欲しいと思う。もう1点、県知事が変わったことによって県の予算の見直しが行われているが、町も影響を受けられると思うが、それについてどのように考えているのか。

コ) 前段の住民協議会の継続することについて、参加者からそのように言っていただけるのは非常に嬉しい。会議を通じて住民と行政の距離が縮まることが一番大事で、それが自分ごと化である。県の予算について町から説明願う。

町) 田原本町としては田園都市構想の中でスタジアムの計画があり、白紙という報道がなされているが、今後については利用方法等、町と県で協議し検討することになっている。

メ) 町民ホールの活用について、保健センター機能を移転する事が出来たらよいと思うが、町は県の施設を借りて現在の保健センター業務を行っている。町民は県の施設だと知らないと思う。仮に施設を返す場合は、交渉する時期はどのぐらい前に行うのか。

町) 県の施設を借りているのは事実である。借りる期間についても協議の中で何年間にするのかはその都度決めている。

メ) 現時点では何年まで借りているのか。

町) 今年までである。継続するかどうかはこれからである。

メ) いい機会ということである。

コ) 今の質問と回答は、県との契約内容についてで、今年度で現契約は終了し、次回の契約期間については協議で決めることが出来る。仮に保健センターを廃止して町民ホールへ移転するのならば、契約更新は期間を短く設定し、準備をしたらどうかという質問に対し、可能であるとの回答である。

メ) 報告書が提出された後どうなったかを広報で知ることが出来るのかという点と、知事が代わって国体が無くなった場合でも中央体育館は住民の為に大規模改修をするのか。

町) 現時点で、国体は予定通り実施されるという認識である。

町) 報告書が完成したのちの流れについて、6月末頃に完成版を協議会メンバーに郵送する。7月上旬に協議会メンバーを代表して複数名の方に町長へ報告書を提出していただく予定である。その後、公共施設のあり方について本部会議等を経て意思決定を行っていく。報告書や住民協議会の会議録はホームページ上で公開を予定しており、広報等で協議会メンバーに周知できたらと考えている。

コ) 報告書を受けた後、町で検討してどのような方向性を出したのか、協議会メンバーは自分の意見が結果としてどう反映されたのかというのを知りたいと思う。

町) 報告書を受けた後、副町長を本部長とする会議を開催する。そこで施設の再編方針等を決定し、パブリックコメントという形で住民の方からの意見を広く募集する。パブリックコメント終了後、いただいた意見を反映させた再編方針を協議会メンバーに報告させていたきたいと考えている。

【休憩】

コ) 今回の報告書に協議会メンバーの名簿は載せないということで町側と調整した。引き続き意見をいただきたい。

メ) 2点あるが、まず1点目。有効活用という点について、具体的な内容が入っていないので明確でないと思っている。これについては、施設の方針確定まで進めたら良いと考えるが、将来的にどう活用するのかは着地点を決めておく必要があると思う。2点目は、参加者の偏りについて自分たちの世代、40代から下のメンバーを入れていかないと、将来的な視点が抜けていくように思う。前回も子育てしながら参加されていた方もいたが、例えばオンラインで開催する等、年齢に偏りが出ない方法を考えないと課題が解決していかないとと思う。報告書に記載していただいたら、今後の方針も決まりやすいと感じる。

コ) 町長が住民の皆さんから意見を聞く手段の1つとして住民協議会を開催したが、「報告

書のはじめに」の方に若年層からの意見を取り入れるツールや手段も検討すべきということを入れたいと思う。

メ) 住民協議会であるから住民の意見だけをまとめていると思うが、町としての考えや意見をこの場で聞かせてもらい、協議会メンバーが賛同すれば報告書に記載してもよいのではないか。町の考えは無いのかを聞かせてもらいたい。

コ) 公共施設についてであるか。

メ) 今の議題について各種意見が出ているが、それを踏まえて町の進め方があれば聞きたい。

町) 報告書を提出していただいた後、副町長を本部長とする庁内本部会議を開催する、そこで町の方針、公共施設等総合管理計画をどうしていくかの議論をし、決めていく。そしてパブリックコメントで広く町民の意見を聞かせていただき、修正したものを計画として公表する。そのため町の意見というのは会議で検討していきたい。

メ) 町は今のところ何も意見を持っていないということによいか。

町) 住民協議会を開催させていただいた目的は、財源的に今ある施設を現状維持していくことが困難であるということからであり、町としては縮充という考えのもと、機能は保ちつつ、施設は縮減していくという思いで臨んでいる。

メ) 有効利用に関しても具体的に考えているわけではないということか。

町) 現在計画中であるが、やすらぎ体育館と老人福祉センターについては、清掃工場の跡地と隣接しており、その跡地を、防災機能を持った公園としての整備を考えているので併せて一帯を今後どのように活用していくかを検討しているところである。今ここでいただいた意見を活用できないか考えている。

コ) 住民協議会を開催する時のパターンとして、行政側に原案が無い場合と行政側から提案がありそれに対して意見を求める場合の2種類がある。今回の協議会は中間ぐらいであり、町の意見はあるが具体的でないので、消化不良になっているのかもしれない。保健センターの意見については町側の提案であり、それが議論の基礎になっているので少し難しい点もあったと思う。

メ) 町長に報告される会議があると聞いたが、その会議の議事録は公開してもらえるのか。

コ) 報告したときの議事録か。

メ) そうではなく、会議中の議事録である。どのような会議が行われ意見が出たのか、協議会メンバーは気になるのではないか。

コ) 公共施設等総合管理計画推進本部会議は公開されているのか。協議会メンバーから報告書を町長に提出後、会議の中で自分たちの意見がどう活用されたかを皆さんと共有したいということである。

メ) 時間を作ってきているので、協議会メンバーにだけでも伝えてほしい。

コ) 終了後、私からも町側をお願いをしていきたい。

町) 本部会議については内部の会議で、内容を公開するものではないが、何らかの形で公開できるかも含めて検討してまいりたい。

メ) 今回初めて住民協議会を開催されたということで今後の提案だが、報告書をまとめた後、行政がその結果を受けてどうしていくのかをフィードバックしてもらうのが一番大事だと思う。それがあれば、またこういった機会に参加してみたいと思うので、そこを中心に考えてもらいたい。

コ) 報告書を受け取った後のプロセスだけでなく、今後の住民との接点の持ち方について、住民協議会を開催して、行政としてはどう感じ、どのような受け止め方をしたかというのをフィードバックしてほしいという意見である。

メ) 先ほどの名簿の件について、名前ではなく、年代を記載したらいいと思う。

コ) 報告書4ページの右上に協議会メンバーという項目があるが、ここに年代別、性別の一覧表を作って、どういう年代の方が何人参加したかという表を記載したらどうかという意見だが、採用する。

メ) やすらぎ体育館、老人福祉センターについては存在を知らなかった。体操するのが好きなので体育館を見学に行ったが、暗くて、トイレも入りづらい、これでは施設を利用しようとは思わなかった。

コ) 利用率を高めるためには、使いたくなるような施設にすべきだということ。行政の施設は最低限の維持管理しか行わないこともあるので、使いたくなる施設にするというのも1つのポイントである。7ページ以降については、個別の施設に対していただいた意見を箇条書きで出来るだけ多くの掲載するようにした。個別の施設について、強調して報告書に記載してほしいとか、抜けているところがあればご意見いただきたいと思う。報告書について最後になるが、前回自分ごと化をキーワードに皆さんにシートを記載していただいた。それをまとめたものを25、26ページに記載している。公共施設を自分ごと化という観点で考えて、ご自身でできること、地域としてできること、行政が担うことの大きな3つについて意見をいただいた。特に私たちが(ご自身で)できることが一番のポイントだと思う。一番上に記載した、自らが広告媒体になり、情報共有・提供を行うというのは本当の意味で自分ごと化ということである。自分の施設だから、もっと利用してもらうために自らが情報発信するということ。2番目に自分たちの施設だから自分たちで施設やサービスを積極的に使うのも素晴らしい意見である。公共施設について、私たちができること、地域でできることについて追加の意見があればいただきたいと思う。

【意見なし】

無いようなので、引き続き意見提出シートを記載する時間を取りたいと思う。

メ) 路線バスを走らせるとなれば、具体的なコースがあるのか、特定の場所だけを通るのか、主要施設を巡る形で回るのか、現時点での決定事項を話していただきたい。

町) 今秋から走らせる予定の2つの公共交通について説明させていただく。デマンド交通については北東エリアからスタートする。法貴寺や道の駅付近などを想定しており、最終的には町域全体に運行していく。これをもって、町内全体の公共交通空白地域を無くしていく。これがデマンド交通の考え方である。一方で、定時定路線型のバス、コミュニティバスの方

については、観光客の方や、あるいは道の駅のように人が多く行く場所を点と点で結んで、ルートを組むという形で、北東エリアで実施予定である。それが基軸としてあり、町域全体としては、デマンド交通でカバーをしていくというのが基本的な考え方になる。この2つの公共交通について今秋から実証的に始め、その結果住民の方々からの意見も踏まえて、町域全体に拡大していく流れを取ろうとしている。デマンド交通で全域をカバーして、コミュニティバスでニーズの多いところを重点的に運行していくという組み合わせで進めようと考えているところである。この実証には、コストもかかるので、結果としてデマンド交通一本にすべきではないかという意見もあるかと思うが、いずれにしても本町の公共交通としてどのような形がよいのかを考えていく。

コ) 現在具体的な案があるということによいか。例えば西部のやすらぎ体育館や東部の中央体育館、ふれあいセンターなどへのルートは無いということによいか。

町) 個別の施設についてはデマンド交通で全域をカバーしていこうと考えている、拡大すれば主要な公共施設にはデマンド交通の乗降場所を作るので、どこからでも基本的に300メートル圏内ぐらいで、乗れる場所を作る、町域全体についてカバーしていこうと考えている。

コ) 皆さんからいただいた意見を受けて報告書を修正させていただく。その後7月第1週を目途に住民協議会からの報告書を町長に提出するが、その提出の場に協議会メンバーの方からご協力をいただきたい。

町) 町長への報告書の提出時には報道機関も入れる予定をしている。

—協議会メンバーを代表し、3名の提出者が決定する—

コ) 最後になるが、この会議に参加した率直な感想をお聞きしたい。今日発言されていない方を中心に感想を聞かせていただく。

メ) 今まで仕事で忙しく、場所は知っていても利用することは無かった。公共施設の事を他人事に考えていた。協議会に参加して情報を取り込んで活用することも、伝えていくことも大事で、あまりにも自分が知らなかったことに気づいた。コロナワクチンの接種で初めて中央体育館を訪れたが、暗くて汚くてびっくりし、使いたいという気持ちにならなかった。施設を利用して初めて色々なことを知ることができた。ありがとうございました。

メ) 自分の人生で意見を言う機会があまりなく、自分ごと化会議という言葉がまず目に入って、自分も見直さないといけないなと今回よくわかった。ありがとうございました。

メ) これだけの方がいれば、それぞれの考えがあるということが理解でき、聞くことができ、非常に自分なりの勉強になった。ありがとうございました。

メ) 住民協議会に無作為で選ばれ何をするかわからなかったがとりあえず参加した。協議会メンバーの意見を聞いて、皆さん様々な経験をされてきてすごいと思った。この町が好きでずっと暮らしていきたいと思うので、自分自身が変わらないと周りも変わらないと思うので、視野を広くしてこれから過ごしていきたいと思う。ありがとうございました。

メ) 住民協議会の報告書が仕上がった後、町としての最終決定というのはいつ頃になるのか。

町) 先ほど申し上げた副町長がトップの会議では大きな話として存廃をどうしていくのか

というところは速やかに決定していく。一方で受益者負担の話であるとか、あるいは管理体制について、町職員が直営で行うのかあるいは指定管理で行うのか、もう少し複合的にやっていくのかは委託を出すタイミングもあるので、すべてをここというわけにはいかないが、今年の秋口までぐらいには大きな方向性を出して、皆様方にも何らかの形でフィードバックしたいと考えている。

メ) 各施設の最終決定、概略でも協議会メンバーに送ってもらいたい。

町) 何らかの形でお伝えする。

メ) 半年近くの時間をかけて、忙しい中出席して、我々町民の意見も通るんだという実感が出来ればやりがいに繋がると考える。我々の意見が協議会で通るというのを証明していただきたい。これは若年層のやる気にもつながると考える。

メ) 知事が変わり、スタジアムの計画が白紙になったが、土地は確保し購入している。多大なる税金を投入し、今後の利用の仕方も公表されていない。町長の考え方として、どういった意見を持っておられたか教えていただきたい。

町) まず、選挙で奈良県の知事が変わるということは民意であるので受け止めないといけない。そうしたときに、これまでの方向性が変わるのはやむを得ないと思っている。これは町長も申し上げているが、3年間かけて磯城郡3町と一緒に県と進めてきた取り組みを一方的に廃止するのは我々としては納得していない。方向転換があつてしかるべきだが、手続きはしっかり踏んでほしいと伝えている。計画を無くすにしても町側への説明であるとか、奈良県議会へも説明をするべきではないかということは、引き続き言っていこうと思っている。ただ、大前提として民意の上に選ばれた知事の方針に異を唱えるというのは民主主義自体を否定することになってしまうので、そこについてはやむを得ないと、それを前提に今後進めていこうと思っている。

メ) 生まれて80年この地を離れたことは無いが、77歳まで働いていたので町の事が分からない状態である。この協議会に参加して初めて町の施設等を知った。これから機会のある限り、利活用させていただきたい。

メ) 第1回目の協議会の時に、協議会メンバーの皆さんはずっと田原本町に住んでいる方なのか、自分のようにどこかの時点で転入されてきた方なのかということを考えていた。ずっと住んでいる方と、引っ越してきた方とで考え方も違うのかなど。自分自身も幼少期に田原本に慣れ親しんだわけではないが、子どもの頃に図書館に行ったり福祉サービスを受けていたりした。田原本で結婚し、子育てをする中でいろいろな施設に関わり、住民であるなどと思い協議会で考えさせられた。また、青垣生涯学習センターや図書館の維持にもお金がかかるので皆が使いやすいようにお金を使って欲しいなどと思った。視野が広がり、会議に参加できてありがたかった。

メ) 廃止、用途多様化、用途変更の3つがある。(人間の年齢で例えると) 廃止は高齢者、用途多様化は中年、用途変更は若年層。年代を捉えて補修をし、耐用年数を考える。耐用年数が来る前にどのようにできるかをもう少し検討して欲しかった。

メ) 住民協議会に参加して、すごく緊張している。表の見方や専門用語も分からず、話が理解できないこともあったので参加してもいいのかと思ったが、コーディネーターや他の協議会メンバーが背中を押してくれ、意見を聞いてくれた。会議がすごいものだと感じ、初めての体験だった。

メ) 長く田原本町に住んでいるが、知らないことが多くあった。磯城郡にスタジアムや大学ができることを知らなかった。奈良県としてもお金を捻出しなければならず、大ナタを振るわなければ大きな金額は捻出できないと思った。

メ) 田原本に引っ越しして50年だが、知らないことが多くあった。普段使っている施設は体育館のグラウンドと老人福祉センターくらいだった。田原本町は小さな自治体だが、立派な施設がある。体育館や町民ホールでも、利益を上げることができる。いろいろなイベントをし、ネーミングライツやスポンサーを募ることを進める人が必要だ。田原本町の施設は利益を出していると胸を張って言えるようにしてほしい。いろいろな面で勉強になった。

コ) 全員に発言してもらった。アンケートに記載して、記載が済めば回収したい。

町) 閉会式を始める前に、報道関係者に入ってもらおう。

【報道関係者入場】

町) 閉会式を始める。コーディネーターの荒井氏に、住民協議会の総括をお願いしたい。

コ) 皆さんに、無作為抽出の協議会メンバーに加わりませんかという通知が突然届き、驚いたと思う。戸惑いもあったと思うが、3回の住民協議会を通して、皆さんに率直に意見を言っていたいただいたので、非常にスムーズに進んだ。私の田原本のイメージは歴史や由緒があり大阪や京都への交通利便性が高い町だった。意識の高い住民が多いと感じた。いろいろな団体で住民協議会に参加しているが、これほど多くの深い意見が出るケースは珍しい。今ある施設が老朽化するが、経費をかけられないという非常に難しい議論であったが、ポイントを突いた適切な意見が出た。この住民協議会で協議したプロセスやエキスが、どう活用されているのか、今後の皆さんが注目していくポイントになる。報告書の提出が終わりではなく、どう活用されるかが次のスタートだ。今後も自分たちの税金がどのように使われるか見続けて欲しい。田原本町は景色も素晴らしく、住みやすい町だと思った。今後は関東に帰るが、田原本町がどの方向に進むか、住民との距離感はどうなるか、遠くから私なりの見つめ方で見ていきたい。田原本の住民の皆さんが幸せになり、皆さんの力で住みやすい町になるように努力を続けていただければと思う。短い期間ですけど大変お世話になりました。ありがとうございました。

【町長が公務で最後の挨拶に出席できなかったため、ビデオメッセージを上映】

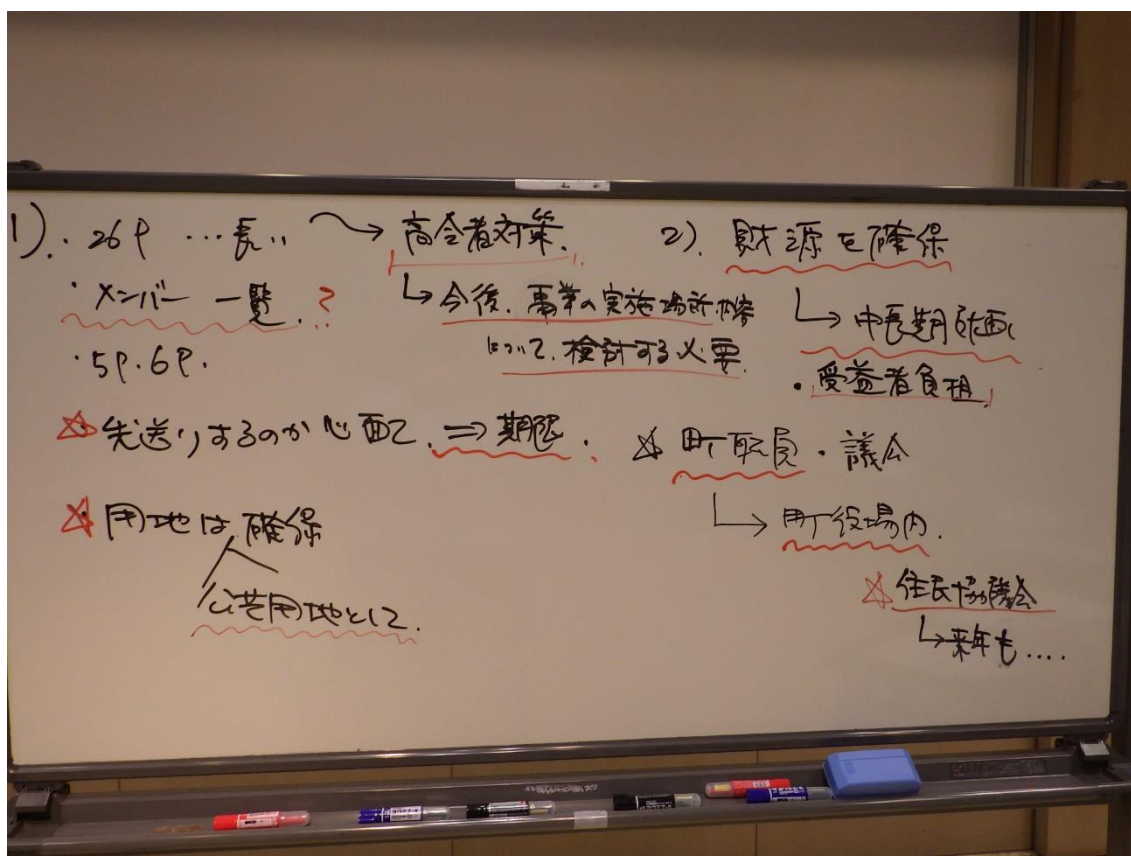
町長挨拶 (ビデオメッセージ)

田原本町長の森です。住民協議会に皆様のご厚意でご参加いただき、そして本日最終回を迎え、感謝申し上げます。田原本町は子育て支援で社会増となっているが、やはり人口が少しずつ減ってきている。その中で今ある公共施設をどのように管理していくか、その将来性を

皆様が自分ごとのように真剣に考えていただき、取りまとめをしていただいたことに、感謝を申し上げます。また皆様の総意である報告書をいただき、田原本町長としてしっかり受け止め、田原本町の未来に使いたいという思いである。ぜひこれからも田原本町のために皆さんでいろいろなご意見、激励をいただきながら共にいい町を作っていきたいと思っている。よろしくようお願い申し上げます。住民協議会にご協力いただいたことに感謝申し上げますとともに、皆様方のこれからのご活躍を祈念申し上げます。本当にありがとうございました。

町) これで、田原本町住民協議会を閉会する。報告書は、本日の意見をもとに完成させ、住民協議会メンバーに郵送する。約5ヶ月間、貴重な意見をいただき、住民協議会ご参加いただき、誠にありがとうございました。

ホワイトボードの写真



私に関係ある？ ある

1). 有効活用.

↳ 具体的に.

・ 若年からの意見.

↳ 活用する手段 → 「IFUMI」

・ 町民への意見 考へ方.

○ 今後・対話型.

↳ 行政からのフィードバック.